



## おすすめな「クリスマス本」

『クリスマス・キャロル』

作:チャールズ・ディケンズ 集英社

『リサとガスパールのクリスマス』

作:アン・グットマン ブロンズ新社

『おとうさんねずみのクリスマスイブ』

作:クレメント・C.ムーア 瑞雲社

『ミッキーのクリスマスキャロル』

作:矢部美智代 講談社

『名作に描かれたクリスマス』

作:若林ひとみ 岩波書店

『ぼくらのメリークリスマス』作:宗田理 ポプラ社

『キャロリング』作:有川浩 幻冬舎

『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』

作:橋高弓枝 偕成社

『クリスマスケーキは知っている』作:藤本ひとみ 講談社



## クリスマス よもやま話

### 『きよしこの夜』誕生秘話

時は1818年、ヨーロッパではナポoleon統治時代が終わるころ、オーストリアはザルツブルグ郊外の小さな村・オーベルンドルフでの事。クリスマスが近づいたイブ前日、村の教会のオルガンが壊れ音が出なくなってしまいました。楽しみにしていた村人たちをがっかりさせないため、神父ヨーゼル・モールは急ぎ「Stille Nacht(きよしこの夜)」の歌詞を書き上げました。それにギターの伴奏で一緒に歌える曲をつけてもらうため町の教師グルーバーに頼み込んで、一晩で完成したのが「きよしこの夜」です。

## わたしの一冊 … 図書ボランティア Tさん 『夢幻花』

東野圭吾:作 PHP研究所

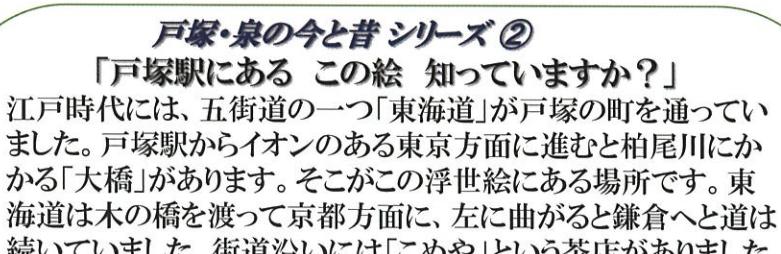
「こんなに時間をかけ、考えた作品は他にない」  
By 東野 圭吾。夢幻花とは、追い求めると身を滅ぼす禁断の花。祖父を殺された梨乃と家族関係に悩む蒼太の二人が幻の黄色い花の謎と殺人事件を解き明かす。バラバラなストーリーが終盤で一気に繋がる様が見事。



## わたしの一冊 … 図書ボランティア Fさん 『三毛猫ホームズの推理』

赤川次郎:作 角川文庫

血を見ると倒れてしまう冴えないダメ刑事が三毛猫のホームズに助けられながら? ほぼホームズの活躍? で、難事件を解決していく物語です。本が苦手でも、とても読みやすく最初の一章で引き込まれます。シリーズなのでハマれば全巻制覇したくなるかも? !



黄色い  
アサガオだけは  
追いかけるな。  
P.I.P.研究所  
文庫・本体1,600円(税別)



この浮世絵はJR戸塚駅の地下コンコースにあります。初代広重が「東海道五十三次・戸塚宿」で描いたものです。